

## 村政を問う!

- ・曾根原恵子 議員 / 会計年度任用職員に期末手当と勤勉手当を
- ・相澤 稔 議員 / 村の知名度アップの活動や今後の誘客対策は
- ・深澤英喜 議員 / おたり開発総合センタートイレ改修費は
- ・宮澤正廣 議員 / おたり未来づくり支援会議の今後について
- ・田原富美子 議員 / セイタカアワダチソウ等の駆除対策は
- ・横澤 匠 議員 / 住宅除雪支援事業対象世帯の拡充は
- ・柴田友造 議員 / 山村留学の進捗状況と前に進まない理由は



議長新年のあいさつ/補正予算・条例案・報告事案等を審議 ……②～③

委員会報告・村政を問う ……④

一般質問 ……⑤～⑪

議員と語ろう・編集後記 ……⑫

# 新年のご挨拶



議長 吉澤 学

新しい年を迎え心よりお慶び申し上げます。

年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。旧年中は小谷村議会に對しまして一方ならぬご指導、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

大きな災害も無く、平穩な日々が続く小谷村でしたが、ロシア・ウクライナ戦争に、イスラエル・パレスチナ紛争等、世界に目を向けると大きな問題が山積し、我々日本にとつても燃料の高騰、生活物資の物価高、建設資材や農業資材肥料等の高騰など、普段の業務・住民生活に多大なる影響を及ぼしています。早く紛争が終結し、世界に平和

が訪れます事を願わずには  
いられません。

村にとりまして一番の觀光シーズンの冬が訪れ、暖冬との予報もありましたが、ゲレンデ上部では滑走可能な状態となりました。また、新型コロナウイルス感染症も5類に分類され、村を訪れるインバウンドのお客様も多く見受けられます。今年こそはと大いに期待しております。

村内の行事もコロナ禍前にはほぼ戻りました。議会としましても村当局と歩調を合わせ村発展と村民の皆様  
の幸せのために様々な施策を施し、実現できるよう努力を惜しまない所存です。

結びに、小谷村の益々の発展と村民一人一人が希望に満ちた明るい一年になりますように、また、健康で過ごせます事を衷心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



## 補正予算・条例案・報告事案等を審議

12月定例会(会期:12月5日~14日)

### ◇ 専決処分等報告

番号	件名	内容	審議結果
報第20号	損害賠償の和解並びに額を定めることの専決処分報告	水道の閉栓作業の失念により、冬期間に宅内配管が凍結し、配管及び危機が破損(990,000円)	議会の委任による専決処分事項

### ◇ 村長提出議案

番号	件名	内容	審議結果
議案第57号	小谷村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に基づく「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律」の成立により、一般職の職員の俸給月額及び期末手当並びに勤労手当の支給割合を改定(行政職俸給表の改定、期末・勤労手当年0.1月引上げ)	可決(全員賛成)
議案第58号	小谷村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	「特別職の職員の給与に関する法律」の一部改正に伴い、期末手当の支給割合を改正(期末手当年0.1月引上げ)	可決(全員賛成)
議案第59号	小谷村議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	「特別職の職員の給与に関する法律」の一部改正に伴い、期末手当の支給割合を改正(期末手当年0.1月引上げ)	可決(全員賛成)
議案第60号	小谷村犯罪被害者等支援条例の制定について	「犯罪被害者基本法」の規定に基づき、新たに条例を制定	可決(全員賛成)
議案第61号	小谷村手数料徴収条例の一部を改正する条例について	「戸籍法の一部を改正する法律」の施行等に伴い、条例の一部を改正	可決(全員賛成)
議案第62号	小谷村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	「福祉医療費の支給に関する事務」に特定個人情報を利用するため、条例の一部を改正	可決(賛成多数) 反対:曾根原
議案第63号	令和5年度小谷村一般会計補正予算(第5号)	1億1,600万円追加 総額45億7,200万円	可決(全員賛成)
議案第64号	令和5年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	8,550万円追加 総額4億5,100万円	可決(全員賛成)

議案第65号	令和5年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第3号)	増減なし 総額9,050万円	可決 (全員賛成)
議案第66号	令和5年度小谷村簡易水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入 400万円追加 総額1億4,746万8千円 収益的支出 453万3千円追加 総額1億4,405万円 資本的収入予算 1,789万5千円追加 総額1億29万5千円 資本的支出予算 1,810万円追加 総額1億2,934万2千円	可決 (全員賛成)
議案第67号	令和5年度小谷村下水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入予算 87万6千円追加 総額1億5,278万7千円 収益的支出予算 87万6千円追加 総額1億5,208万1千円 資本的収入予算 119万円追加 総額1億1,429万3千円 資本的支出予算 130万円追加 総額1億1,451万5千円	可決 (全員賛成)
議案第68号	権利の放棄について	水道料金に係る債権放棄(6人 757,380円)	可決 (全員賛成)

## ◇ 請願・陳情

番号 付託委員会	件名	提出者	審議結果
請第9号 総務委員会	小谷村議会一般質問等審議のYouTube配信を求める陳情書	野崎 由紀子	採択 (全員賛成)
請第13号 総務委員会	現行の健康保険証を残すよう国に意見書提出を求める陳情	大北生活と健康を守る会 会長 松島 吉子	継続審議 (賛成多数) 反対:曾根原
請第14号 総務委員会	児童・生徒の通学路等の安全確保についての陳情書	小谷小学校PTA会長 北村 和則 小谷中学校PTA会長 相澤 宏樹	採択 (全員賛成)
請第15号 総務委員会	生活保護基準を引き下げ前に戻すことを国に要望する意見書提出を求める陳情書	大北生活と健康を守る会 会長 松島 吉子	継続審議 (賛成多数) 反対:曾根原

## ◇ 追加提出議案

番号	件名	内容	審議結果
議案第69号	小谷村移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	移住定住促進住宅を1棟追加(下里瀬)	可決 (全員賛成)
議案第70号	小谷村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	除雪作業員(住宅除雪支援)の報酬額を改定	可決 (全員賛成)
議案第71号	令和5年度小谷村一般会計補正予算(第6号)	5,300万円追加 総額46億2,500万円 価格高騰重点支援(商品券)、住民民非課税世帯給付金他	可決 (全員賛成)

※賛成・反対は審議結果に対して

## 審議結果に対する反対意見

- 【議案第62号】 マイナンバーカードにはセキュリティー問題等が残されており、改善されない状況で条例改正を先行させるべきではない。(曾根原議員)
- 【請第13号】 現状での廃止は混乱を招き、保険証の廃止には賛成できない。採択し意見書を送付すべき。(曾根原議員)
- 【請第15号】 物価が高騰している状況下であり、直ちに改正前に戻すべきである。採択し意見書を送付すべき。(曾根原議員)

# 委員会報告

## 総務委員会

保育園・小学校・中学校の

視察と話し合い

令和5年11月17日

教育委員会（教育長・課長）と視察後、現在抱えていることを話し合った。

保育園では12月8日の発表会に向けての練習の様子を。中学校では、パソコン教室と給食搬入箇所と流れの説明。小学校では、体育館の舞台裏の「放課後児童クラブ」とトレーニングの各ルームも見学し、校舎を結ぶ2階渡り廊下に北から南に少し勾配があることに気が付いた。その後、給食を試食した。

話し合いでの主な項目は次の通り。

○保育園 一時保育、未満

児保育の充実に向け、充分な保育スペースの確保。

○小学校 ランチルームに専用のクーラー設置を。

また、南棟の理科室にクーラーがない。

○中学校 水道は、開校以来45年が経過し、学校休み後には濁りが出る。

○教員住宅 特に女性教員住宅にクーラーの設置を。

## 経済委員会

国交省松本砂防事務所

要望活動

令和5年10月17日

小谷村姫川流域直轄砂防事業等促進期成同盟会小林会長以下6名で本年の要望書を提出。

要望内容は、浦川上流部土砂流失防止・砂防施設の整備促進、工事用道路で使っている村道川尻線、桂沢線の補修などで、林野庁と検討し対応する。次年度予算化し工事を進めていきたいとの回答をいただいた。

長野県治水砂防協会

姫川支部分砂防施設現地視察

令和5年11月6日

木曾郡大桑村越百川第

三砂防堰堤、中津川市四ツ目川遊砂工について、多治見砂防国道事務所の森下所長より視察地の説明を受けた。

## 議会広報委員会

町村議会広報研修会

令和5年9月26日

日経ホール

全国町村議会議長会主催による広報研修会が開催され、広報を担当するうえで必要な法律知識、伝わりやすいデザイン等についての研修に参加した。

## 議会活動

大北議会議員研修会

令和5年10月4日

小谷村

コロナ禍で延期となっていた大北管内議員による研修会が議員56名の参加のもと4年ぶりに開催された。OB J長野校梶谷耕一校長を講師として、講演会が開催された。

# 7人の議員が、村政を問う

・議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

### 〈質問事項〉(質問順)

- |            |  |                       |
|------------|--|-----------------------|
| 1、曾根原恵子 議員 | ① 非正規公務員の働き方改革を                          |                       |
|            | ② 環境にやさしい農業 土づくりで有機の里に                   | (5ページ)                |
| 2、相澤 稔 議員  | ① 今グリーン期における村内への入込状況について                 | (6ページ)                |
| 3、深澤 英喜 議員 | ① 公共整備事業について                             | ② 臨時交付金事業について         |
|            | ③ 関係人口創出事業について                           | (7ページ)                |
| 4、宮澤 正廣 議員 | ① おたり未来づくり支援会議の今後について                    |                       |
|            | ② 山菜加工場の現状と今後の対策について                     | (8ページ)                |
| 5、田原富美子 議員 | ① セイタカアワダチソウ等の外来植物の駆除対策について              |                       |
|            | ② 複合拠点施設(つぐら)について                        | (9ページ)                |
| 6、横澤 匠 議員  | ① 住宅除雪支援事業について                           | ② 給油所(GS)過疎地の支援対象について |
|            | ③ 持続可能な訪日外国人旅行者(国内旅行者含め)受入のための環境整備支援について | (10ページ)               |
| 7、柴田 友造 議員 | ① 工事に伴う受益者負担金等について                       | ② 各種補助金等の創設について       |
|            | ③ 山村留学について                               | (11ページ)               |

# 問 会計年度任用職員に 期末手当と勤勉手当を

## 答 「勤勉手当」支給するための 基準を整理する



そねはらけいこ  
曾根原恵子 議員

### 非正規職員の 働き方の改革を

**問** 男女比率と年代階層について伺う。

**答 村長** 会計年度任用職員の男女比率はフルタイム32名、内男性8名、女性32名。40代・50代が多く20名。

パートタイム職員は99名、内男性37名・女性62名。50代・60代が多く47名となっている。

**問** 任用職員の年間所得は平均250万、その70%が女性だ。仕事にやりがいを感じ、正規職員と同等の仕事をしている。

**答 村長** 賃金差を見ただけでも「女性の間接差別そのもの」ではないかと、働き続けたい職場と感じてくれていることはありがたい。働き方が「女性への差別」となるとい

**問** 賃金・手当・一時金など、改善はされていくか。

**答 村長** 最低賃金法の適用や、期末手当に正した。

**問** フルタイムのみ改定で、パートタイムは適用されていない。同等な対応を求める。自治法改正によりパートタイム職員に対して「期末手当・勤勉手当を支給することができ

**答 総務課長** 勤勉手当については課題があり、期間率・成績率の適切な反映などしくみづくりを進め引き続き処遇改善に努める。

**問** 任用職員の勤続年数の実態は。

**答 村長** フルタイム1年以上が16名。パートタイムは基本的に年度単位の管理で統計を取っていない。

**問** 任用期間の保証も急務だ。不安定雇用は不安とストレスになる。

**答 総務課長** 会計年度1年ごとの契約方式で、継続意思確認をし、再雇用となる。

**問** 常時設置すべき部署で、知識経験・専門性が求められる職種は正規職員を配置すべきだ。

**答 村長** 多岐にわたる職種構成だが、各課係が適切な管理に努めているものと認識している。

### 土づくりで有機の里に

**問** 循環型村づくりの一步として「土づくりセンター」の創設を提案する。

**答 村長** 村独自の堆肥製造は今のところ考えていないが、土づくりは農業にとって大事な作業だ。生ごみや有機物を有効活用して環境にやさしい取り組みを村民に実践していただきたい。

**問** 村独自の「有機認証制度」を創設して作物のブランド化を。

**答 村長** 認定基準が低いので村独自認定の価値はない。むしろ付加価値を高めることで方策を考える。



大町市八坂堆肥化施設  
木材チップ・生ごみ・粉殻・牛糞を混ぜた有機堆肥



大分県臼杵市  
完熟堆肥で土づくり(有機独自認証)で農産物ブランド化



あいざわ みのる  
相澤 稔 議員

# 問 村の知名度アップの活動や 今後の誘客対策は

## 答 時代にあった多種多様な スタイルの旅行に対応していく

### 村内観光地域や施設 などへの来訪者の状 況は

**問** 新型コロナウイルスによる規制が緩和され、人の移動が活発になった。梅池自然園等の山岳、ホテル等の宿泊施設、村営施設や塩の道祭のイベント等における来訪者はどのように推移しているか。

**答** 村長 山岳関係では梅池自然園の入込みはコロナ前に戻ってきていないが、風吹や雨飾高原はほぼ回復傾向である。宿泊関係は梅池地区や白馬乗鞍のホテルは順調、他では一部休業による影響がある。村営施設の利用状況にはサンテインおたりの飲食部門にコロナの影響がみられるが、他は想定範囲内である。

**問** 村観光連盟が企画した大系線の利用促進と梅池自然園への来園を期待し、糸魚川、大町両市民を対象とした特別チケットを

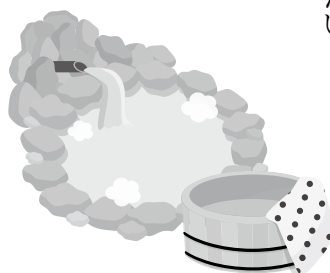
8月31日までの期間限定で販売したが実績は。また今後も同様の企画を考えているか。

**答** 村長 糸魚川市民向け79枚、大町市民向け29枚の販売実績である。梅池 Gondola リフト(株)はじめ関係機関の協力の賜物であり、今回の企画を契機に大系線利用促進、公共交通機関を利用した旅行促進に努めたい。

**問** 村のキャッチフレーズにもあるように温泉は小谷の貴重で大切な観光資源である。村営の温泉施設では源泉や設備に不具合が生じた場合、迅速な対応が可能だが、個人経営の施設では中々難しい場合がある。往時に比べ賑わいに一抹の寂しさを感じている。個人経営する温泉施設や設備のトラブル、アクシデントに対し公的な支援はあるか。

**答** 村長 災害によるものには一定の補助はあるが、通常の支援策は整っ

ていない。そのような場合は一報いただきたい。大切な観光資源である温泉は皆で守っていく。入湯税の活用も議論したい。



### 観光情報の発信、多 様化する観光スタイル への対応は

**問** 誘客や村の知名度向上に向けてどのような活動をしたりか。また、来季以降を見据えた対策や戦略は。

**答** 村長 観光情報の発信は小谷村観光連盟が担っている。メディアを通じてものが最多であり、主力と考えている。webプロモーションの割合を増やし、現地へ出向いての対面営業活動も減少しているが

継続中である。また、今後の取組みとして、多種多様な旅行スタイルに対応する必要性を痛感し、国内外の旅行者の要望に応えられる環境整備に努めたい。

**問** 足元の対策として、海外資本による地元宿泊施設への進出に対する備えはあるか。

**答** 観光地域振興課長 海外資本の進出や外国人による施設の買収において、行政の事前の確認は難しい。他自治体での事例は風聞で承知しているが注視していきたい。

**問** 村の主要イベントに成長した『そば祭』地産地消の観点から、そばの生産にやりがいを感じる、そのような支援策はないか。

**答** 観光地域振興課長 そばの生産は村内での消費量を充足できている。生産者には国の補助金も導入し支援している。担い手不足や高齢化の問題は、大きな課題ととらえている。

# 問 おたり開発総合センタートイレ改修費は

# 答 請負代金は4,400万円



ひでき 英喜 議員  
ひさわ 深澤

## 公共整備事業について

**問** おたり開発総合センタートイレ改修工事の改修工事費と工事業者決定までの流れは。

**答** 村長 「だれでもトイレへのコンパクトオストメイトパック設置を行う工事である。

小谷村建設工事請負人等選定委員会により指名業者として4者による指名競争入札にて(株)鷺澤建設と請負代金4,400万円で締結した。(落札率99・63%)

**問** 村内公共トイレ改修工事事業の計画は。

**答** 村長 次年度予定として、雨飾山登山口トイレの洋式化を考えている。

**問** 県道千国北城線拡張工事、長期間の通行止についての村の対応は。

**答** 村長 中島地籍の道路改良工事については、上下水道の敷設替え、村道峯線の付け替え、また降雪

期前の工事完了制限も含め、大町建設事務所と村で協議のうえ、全面通行止め工事を進めた。



中島地籍道路工事後

## 臨時交付金事業について

**問** 令和4年度の7,000円分の商品券の配布数と使用率は。

**答** 村長 総額1,876万円の商品券の配布。換金総額は1,807万8,000円。使用率は96・36%。

**問** 令和5年度の5,000円分の商品券の使用率は。

**答** 村長 12月1日での使用率は約63%。

**問** マイナポイント事業について、年配者のスマホ所有率に疑問がある。自治体マイナポイント事業に対する説明を。

**答** 村長 高齢者に限らずスマートフォンを所有していないことは理解している。nanacoカードしか所有されていない方は、申し込みにはパソコンが必要。役場、企画財政係あるいは住民係窓口で申し込み手続きが出来る。

nanacoカード発行手数料は、300円である。

## \*関係人口創出事業について

**問** キッズワイルドおたり、サマーキャンプ、子ども体験プログラムについての支出状況は。

**答** 村長 令和2年度から実施している。

令和2年 11,145,450円  
令和3年 2,701,700円  
令和4年 6,803,200円  
令和5年 確定していない。参加費とふるさと応援寄付金を充当している。

**問** 事業効果と次年度以降の考えは。

**答** 村長 ふるさと納税をしていただいた方々との繋がりを寄付だけで終らない形で継続していく。

**問** 公金の投資的事業だが、効果が見えにくい。単純に委託事業者補助ではないか。

**答** 村長 観光及び移住者等の、何らかの形に期待する。

\*関係人口創出事業とは【これから新たに地域と関わりたい人と地域がつながる機会を提供する取組】



みやざわ まさひろ 議員 宮澤 正廣

# 問 おたり未来づくり支援会議の今後について

## 答 住民が当事者として関わり対話をしていく

### 問

審議会の答申を受けて実施したものは。

村長 観光地域づくり審議会からの答申

を令和2年9月30日に受けており、この答申から、「住民が当事者として関わり、対話をしていくこと」「データを基に議論を積み重ねて関わることを増やしていくこと」の2つが重要と考え、3つの分科会を立ち上げる中で当事者として何ができるかを検討してきた。

実施したものについては、

観光戦略分科会の検討から「村内外へ発信する基礎となる取り組みの発信を行うべくホームページの制作」、里山歴史分科会の検討からは「塩の道を後世まで繋げるための組織づくり」、雪国分科会の検討からは「夏まで残った雪を教育素材として活用した小学校の授業」（雨で中止）がある。

里山利用においては、塩の道ガイドの組織づくりとして「塩の道古道クラブ」

が令和5年3月28日に設立し、ガイド認定事業や塩の道の情報発信などを展開している。



審議会の答申で注目された小谷小学校校歌

### 問

支援会議の意見を支援策としたものは。

### 答

村長 有識者の意見を踏まえた支援策で

は、塩の道ガイドクラブの設立以外実施できたものはない。

また、有識者と協議を重ねた結果、「観光地域づくり」から「おたり未来づくり支援会議」と名称変更し、未来づくり支援金として令和5年度当初予算に計上した。

本事業などに対し受託者の辞退があり、進捗の評価を怠っていたことは否めない。年度終盤に向け、新たな体制やスケジュールの確立など、この反省を踏まえた対応に努める。

### 問

「未来づくり」とあるがどの方向をめざしていくのか。

### 答

村長 答申では3本の柱を中心に小谷村の観光地域を作っていくことが提言された。そして、

村民の皆さんが参加して創り上げていくことが謳われており、この方向に小谷村が向いていけばという指針である。

答申内容からどのように進めていくかを再度熟考し、実現するために努める。

### 山菜加工場の現状と今後の対策について

### 問

村としての方針と対策は。

### 答

村長 施設の老朽化に加えて、最も大き

な課題は、施設内の機械類の老朽化や殺菌用ボイラーや真空包装機は、現段階で求められる機能がかなり厳しい状況にある。JAとの話し合いは現状確認が大半であり今後の導き等の議論まではしていない。双方が確認したことは、過去から守ってきたブランド「小谷漬」を決してやめてはならないとの意見で、小谷漬を守るという気持ちは一緒であった。

3月までには、ある程度の方向性に対して、お互いに同意する必要がある。



山菜加工場



# 問 セイタカアワダチソウ等の 駆除対策は

# 答 駆除の時期、周知方法など村全体 にいきわたるよう調整していく



たはら 富みこ  
田原富美子 議員

**問** 外来種の調査と対応は。

**答** 村長 6月に保護司、更生保護女性部の活動に参加し、道の駅北側で外来種の駆除作業を実施した。村では詳しい生育場所や調査はしていないが、

県の出している外来種対策などの情報から、村内にも広範囲に亘って分布している

とされている。外来種の特性や、駆除方法など広報しながら、個人所有地では駆除に協力いただくよう周知していきたい。

**問** 柵池自然園の外来種、鳥獣被害対策は。

**答** 村長 外来種の持ち込みを制限するために、柵池ゴンドラリフト(株)と協力して複数箇所に

足ふきマットの設置を行い、ロープウェイ乗車までの除去作業を実施している。自然園内はおたり振興公社職員及び自然園ボランティアの方々による外来種駆除を定期的に行っている。園内

においては、イノシシやシカの被害も見受けられる。

特にシカは植物を摘んでしまうので、北アルプスエリア全域で警戒すべき事項となつている。長野県環境保全研究所では、カメラを設置してシカの生態調査を行っている。

**問** 外来植物の駆除マニュアルを作成して、村民に駆除協力を呼びかけてはどうか。

**答** 村長 県が窓口になり「豊かな環境づくり大北地域会議」という組織からハンドブックが出ており、駆除の必要性や駆除の仕方が記載されている。

広報やケーブルテレビで周知し、住民の方にも関心を持つてもらえるよう考えていく。

## 複合拠点施設

### つぐみつついで

**問** 安心居住施設を作るために、地方創生拠

点整備交付金が、官民協働地域間連帯が前提で約3億円支払われた大型事業である。現状は居住者が誰もいない状態が続いている。今後の運営方針は。

**答** 村長 平成28年からおたり54プロジェクト協議会で議論し、「最後まで小谷村で住み続ける」というコンセプトで協議され、緊急時や困ったとき、

また冬の一時避難など、避難場所として2階に個室15部屋を設置した経過がある。しかし利用がほとんどない結果で今日に至っている。受入れは24時間体制で実施し今後も続けていく予定だ。災害や緊急事態でない限りは、臨機応変な利用、多種多様な活用をして施設を利用していく。村民の皆様が「あって良かった」と思える施設となることを目指していく。



有志によるセイタカアワダチソウの駆除

**問** お年寄りが住みやすい部屋にしたり、椅子や手押し車が使いやすい廊下などにリフォームする考えは。

**答** 観光地域振興課長 寄り合いながら楽しく過ごせるように充分検討していく。非常時に使えることももちろんだが、多目的な利用方法にもしていきたい。

**問** 調理室で配食サービスを再開する予定は。

**答** 観光地域振興課長 設備の整った調理室なので、ぜひそうしたいが、募集をかけても働く方がいないのが現状である。



よこさわ たくみ 議員 横澤 匠

# 問 住宅除雪支援事業対象世帯の 拡充は

# 答 あくまでも現行制度での実施だ

## 住宅除雪支援事業について

**問**

小谷村住宅除雪支援事業実施要綱を見直し、支援対象となる世帯を広げることができないのか。

**答**

村長 住宅支援事業は、実施要綱にもとづき、県の特別豪雪地帯住宅事業により支援員派遣の報酬を補助していただき、高齢者世帯、母子及び父子世帯、傷病・障害者世帯を対象に自己の資金・労力をもって屋根雪降ろしをできない世帯のうち、住民税所得割非課税世帯に対し、除雪支援員の派遣をしている。対象世帯には、民生児童委員を通じて、雪の状況をみながら、除雪支援員を派遣している。

**答**

住民福祉課長 小谷村の11月末現在の総世帯数は、1219世帯あり、支援対象世帯は30世帯ほどである。

**問**

65歳以上のみで構成されている高齢者世帯数は。また65歳以上の一人高齢世帯数は。

**答**

住民福祉課長 65歳以上のみで構成されている世帯は165世帯。65歳以上の一人世帯は238世帯。

**問**

この事業の過去3年の実績は。

**答**

住民福祉課長 令和2年度 派遣世帯数41世帯・除雪時間483時間・支援員報酬787,290円。令和3年度 派遣世帯31世帯・除雪時間935時間・支援員報酬1,563,050円。令和4年度 派遣世帯22世帯・除雪時間318時間・支援員報酬559,840円。

**問**

支援員報酬について 県からの補助はあるか。

**答**

の。また補助の割合は。

住民福祉課長 県特別豪雪地帯住宅除雪

支援事業の予算で1/2以内の補助となることから、支援員報酬に対して、県と村で1/2ずつの負担をしている。

**問**

排雪作業支援員の確保の状況は。また支援員の募集方法は。

**答**

村長 支援員は、現時点で30名程となっている。募集は特にしていない。以前からお願いしている支援員の方を中心に依頼している。新たな支援員の確保は課題である。



屋根雪降ろしの様子

## 給油所(GS)過疎地の支援対象について

**問**

村内の給油所は2カ所だが、県による対象自治体なのか。また村としてGSの位置付けの考えは。

**答**

村長 県へ確認したところ対象市町村である。またGSは身近なインフラ機能を担う大切な事業者であると認識している。

## 持続可能な訪日外国人旅行者受け入れのための環境整備支援について

**問**

事業者の施設改修・修繕や設備更新等に対して支援はできないのか。

**答**

村長 現段階では、個人施設への支援は考えていない。コロナ禍の3年間、あらゆる手法での事業者支援を行ってきた。

**問**

県では宿泊税について検討しているが、村としては。

**答**

村長 村として宿泊税の検討はしていない。

# 問 山村留学の進捗状況と前に進まない理由は

## 答 庁内では慎重意見 任期中には実現に努める



しばた ゆうぞう 柴田 友造 議員

### 工事の受益者負担金等について

**問** 村道（農道林道含む）は、公共性の観点から潰れ地も含め村が負担する考えは。

**答** 村長 公共性を鑑みると村道事業の受益者負担は廃止するよう規則の見直しをする必要があると考えている。受益者からの無償提供の潰れ地の村負担は慎重に検討する。林道事業や土地改良事業は、受益者が特定され、道路法に規定する村道とは性質が異なるため、相応の負担が必要と考える。

**問** 宮本伊折間の道路新設を県が過疎代

成後は村道に編入されるが、受益者負担や潰れ地の扱いは。



宮本伊折間を県代行で施工中

**答** 村長 県の権限及び費用負担により事業執行している。用地買収のうえ事業を進め受益者負担も発生していない。

**問** 農地災害復旧の負担金について、多面的機能があり農地を守り災害で耕作をあきらめないためにも受益者負担金の軽減もしくは負担ゼロの考えは。

**答** 村長 公的や不特定多数に受益をもたらすものでない限り、受益者負担ゼロの考えは適当でない。農地維持を目指す上では、現行5%からの軽減については、農業に限らず他事業の負担金も踏まえ、公的・私的のバランスも鑑み、また、他町村の状況も踏まえて、今後の課題にしたい。

### 各種補助金等の創設について

**問** 带状疱疹予防接種費用は。

**答** 村長 国の動向に注視し、接種費用の助

成を検討する。

**問** がん患者アピラランズ（外見）ケア。ウイッグ等の購入は。

**答** 村長 補整具等の購入費用や健診返却会

等で意見を聞きながら、助成の考えをまとめる。

**問** 結婚祝い金は。

**答** 村長 若者定住対策や少子化対策等の効果を勘案して支給内容や金額等を研究し、検討するが、給食費無償化についても同様の効果を考えたものであり、吟味する必要がある。

**問** 新婚新生活支援は。

**答** 村長 国の交付金制度を確認し、令和6年度検討する。

**問** 資格取得支援は。

**答** 村長 村内で必要不可欠な事業（除雪・介護等）の継続に向け、人材育成等に資する補助として検討する余地がある。

**問** 未来を担う若者定住支援は。

**答** 村長 村に戻ってももらえるような魅力的な内容について研究してみる必要がある。

**問** 精神障がい者の入院費の助成は。

**答** 村長 早急に制度の見直しを検討する。

### 山村留学について

**問** 現在の進捗状況と前に進まない理由は。

**答** 村長 庁内での山村留学の考えは、慎重に進める方向である。10月28日に東京で関係人口創出中土小学校OBファンミーティングを開催。感想をボードに貼り、色々な意見が見え大変興味深い内容であった。全ての部署から横展開できるようなプロジェクトの構築を視野に検討すべきと捉えている。



感想を貼ったボード

# 議員と語ろう

令和5年11月28日(火) 19:00より  
(サンティンおたり2階)

\*【子育て・福祉・教育】と【観光・産業】の2つのテーマに分かれて意見交換を行いました。

\* 村民の皆様からの意見をまとめてみました。

## 観光・産業

経済委員	委員長	清水議員
	副委員長	田原議員
	委員	横澤議員
	委員	深澤議員
	委員	吉澤議員

梅池ヒュッテ休業について悪い印象が目につく。夏の観光の中心であるので何らかの対策をしてほしい。令和6年春からの営業再開を期待する。

姫川温泉は、雪月花が近くに見える場所である。大糸線の存続も含め振興会議の経過が見えない。

行政懇談会を年1回開催されたい。第6次総合計画の総括。

(株)おたりアセットの件は終わっているのか。

梅池自然園の入込客減少について、楠川以南の整備が出来ていないのが原因と思われる。楠川以南の遊歩道の整備を早急にしていただきたい。ヘリコプター使用料が高額であり全行程を1年で行ってほしい。

ボランティアによる「移動助け合いサービス」を行うようだが、村も関わっているのか。

浄化槽の維持管理検査費用の補助をお願いしたい。

梅池マスタープランを立ち上げている。観光立村としての位置づけに議会も共有していただきたい。

議員の観光ビジョンを聞きたい。

「瘡の湯」が一番にぎわっている。普通の家のように接客を行っている。村長によるトップセールスを行い、小谷村に誘客を促進していただきたい。

村内在住の若い世代の意見を中心に進めてほしい。

梅池の観光事業者が激減している。最盛期は約183軒あったが現在80軒である。温泉も2軒無くなった。平成19年頃から議会や村の方向性が見えない。二元代表制で村を盛り上げてほしい。若い人が興味を持つ議会・村づくりをお願いしたい。

塩の道祭りも年1回ではなく秋にも。議員も全ルートを歩いてほしい。塩の道トレイルラン良かったと思う。次年度もお願いしたいし、回数を増やしてほしい。議員懇談会も月1回やってもらいたい。

3スキー場共通のリフト券の発行をお願いしたい。費用・経費は、宿・索道・村の三者負担とし、割引率を高く。連泊プランの実施をお願いしたい。

## 子育て・福祉・教育

総務委員	委員長	吉岡議員
	副委員長	宮澤議員
	委員	相澤議員
	委員	柴田議員
当日欠席	委員	曾根原議員

給食費無償化にお金をかけるより教育環境・施設環境の充実を望む。

大北管内では、小谷村だけが精神障がいのある方の入院費の助成がない。

障がいのある方のサポートをする地域活動支援センターが必要。

移住者を歓迎していないように思える。

人口が減ってきているので、山村留学などを取り入れ交流を増やす。

給食費無償化により子育ての村、優しい村にして欲しい。

昨年末に、地元の名人を講師にしめ縄作りが「おたりつぐら」で行われました。大半の方が藁をなうのも初めてでしたが、名人の手ほどきを受け、徐々に形になってきました。暮れには立派な正月飾りを飾ることができたことでしょうか。年明けには、各地区で「歳の神」が行われ、一年の五穀豊穡が無病息災を祈ります。

村内に伝承されている、様々な行事を絶やさず後世に伝えていきましよう。

広報委員 田原富美子

### 編集後記

**請願・陳情の提出締切日**

3月定例会で審査案件となる請願・陳情の提出期限は令和6年2月20日(火)です。提出は、平日の午前8時30分～午後5時00分までに議会事務局に直接提出してください(郵送による陳情は、原則、議員へ写しの配布のみとなります)。